

たマニラ、スマトラの住民はこぞってGHQに以上の理由を上げて無罪釈放の嘆願書を提出しました。その結果GHQはこれを認め、即時釈放され、無事帰宅しました。

私は昭和二十二年十月六日、阿部家に婿養子になり、大工の見習修業をして二級建築士、一級技能士、職業訓練指導員の資格を取得して工務店を開業しましたが年齢には勝てず閉店し、現在は夫婦二人で僅かばかりの畑地で野菜を栽培、余生を楽しんでおります。

子供は女三人で、上の二人は東京大学で事務職、下の一人は山形市で美容院を開いております。最後に、戦地で敵弾、内地では爆弾で倒れた方々に哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。

我々戦争経験者は生ある内に戦争の悲惨さを詳細に例をあげて後世に伝える義務があります、でないといつか風化したり、正しくない歴史が伝えられる恐れがあります。

満州、そして内地の防衛

山形県 高山 義夫

(旧姓 荒川)

大正八(一九一九)年十月、父作治、母ツタエを両親として、戸沢村名高で生まれました。そのころの家族は、祖父、兄夫婦に兄の子供たちと、私の弟を加え九人家族で、父をはじめ一家は大工が家業でした。

戸沢村の尋常高等小学校の高等科二年を昭和八(一九三三)年三月に卒業し、大工などの見習いをしているうちの昭和十四年十二月一日、徴兵検査を受け、甲種合格でした。

昭和十五年二月一日、第二十四師団の山形の歩兵第三十二連隊要員のため現役兵として歩兵第二十七連隊留守隊第六中隊に入隊しました。入営のときは、村の青年団員一同、多くの村民のかたがたの見送りを受けました。同じ村からの入隊者は

五人で、入隊してからは、それぞれ配属が変わり、分かれました。

二月十一日に転属のため旭川を出発、同日、歩兵第三十二連隊第十一中隊に編入され、二月十六日、大阪港で乗船、二月二十日、羅津港に上陸しました。ここよりは列車で、二月二十一日には鮮満国境を通過し、二十二日には東安省密山馬家子に到着、同地域の警備に就きました。

寒いところで鼻が凍傷で白くなり、戦友と互いにこすりあって凍傷を防ぐ始末でした。雪は霜が降ったようにサラサラとして風に舞っています。夜間の歩哨などに就きますと、立っている木が人影に見え、狼の遠吠えが聞こえ、つらい思いをしました。

八月一日、歩兵一等兵となりました。

昭和十七年七月二十四日、臨時編成が下令され、七月二十八日第十一中隊に編入、八月二日にこの編成は完結しました。

十月十九日、當壁鎮の監視隊として派遣のため

馬家子を出発、同日に、當壁鎮に到着して、以降同地付近の国境警備に当たりましたが、昭和十七年七月六日、勤務交代となって、當壁鎮を出発し、同日に馬家子に帰着して、同地域の警備に就きました。

昭和十八年三月六日、北部第二部隊に転属のため、馬家子を出発して、三月八日、鮮満国境を通過し、帰国の途に付き、大阪港に上陸しました。

かくして旭川には三月十六日に到着、同日に北部第三部隊に転属となり、第十中隊に編入しました、そして十九日、「服役延期解止」という言葉で除隊となり、同時に兵長となりました。

(昭和十九年二月、南方戦線の急迫と内地防衛強化のため、満州から多くの部隊が転用されることとなったが、第二十四師団は所属の兵力から第七派遣隊を編成してメレヨン島へ、主力は七月に沖繩に派遣され苦闘を体験している。)

その後、私は徴用によって、横須賀海軍施設部に勤務し、飛行場建設などに派遣され、従事して

いました。

これからが内地での防衛勤務で、昭和二十年二月二十八日、「軍令陸甲第三十四号臨時動員並びに東北第五十九部隊復員下令」により、四月八日、臨時召集により東北第五十九部隊に応召となりました。そして同日「護仙第二二八五九部隊」に充用されて船山隊に編入となりました。

昭和二十年四月十日、この編成は完結となり、十九日に山形から青森県三戸郡尻内に到着、内地防衛の任務に就きました。特に訓練もなく、塹壕や防空壕掘りなどをして、終戦を迎えました。

帰ってからも大工の仕事に復帰しましたが、釘やボルトなどの金物がなくて、仕事に困りました。軍歴の中で、次のような章を受けています。

昭和十五年八月一日 陸軍兵精勳章

昭和十六年六月一日 陸軍兵精勳章

昭和十八年二月十日 陸軍兵精勳章

三月十九日 善行証書

三月十九日 兵科下士官適性証書

私の五年三カ月の青春

兵庫県 西 納 鷹 雄

第一章 生い立ち

私は大正十（一九二一）年二月二十三日、農家の末っ子の四男として姫路市で生まれました。

入隊当時、家族は、祖父母、父母、兄二人で、長男は北支で戦死しており七人家族でした。祖父母、父母は農業専業、兄二人は会社勤めをしながら農作業の手伝い、私は旧制中学校卒業と同時に神戸の造船会社に勤務しておりました。

姫路市といえば「姫路城」皆さんご存知の慶長年間に建てられた国宝、またユネスコの世界遺産に登録されており、白鷺城の異名を持つことはあまりにも有名です。その他赤煉瓦の美術館、歴史博物館、文学館、好古園等観光ルートバスも走っております。

第二章 公主嶺駐屯期間